

明和町の台地・丘陵地^{きゅうりょうち}

丘陵

伊勢平野^{いせへい}が続く三重県中勢地区に位置する明和町では山がなく坂道もほとんどありませんが、南へ行くと小高い丘や山が見えてきます。南部は玉城丘陵^{たまぎやま}による丘陵地となっており、南部丘陵地は池村、上村地域の丘陵地^{きゅうりょうち}と大仏山の2つに分かれています。

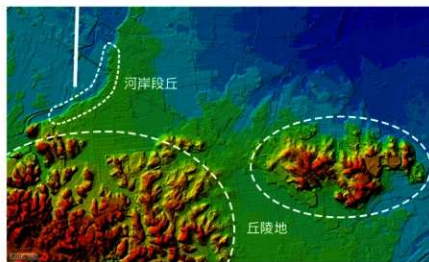
段丘

金剛坂や上村などでは川に沿って崖が続いている地形がみられます。これは河岸段丘^{かきざん}といって、はるか昔に川の流れて台地が削られ、それが繰り返されることで階段のような段になります。

昔の人々はこの段丘の上に集落を作ることによって水害を避け、段丘の下では豊富な水を利用して田んぼなどの農業の場所としてきました。現在の土地の利用が昔から続いていることがわかります。



段丘の上と下の
土地利用の違い



キーワード：台地、河岸段丘、玉城丘陵